

## 北茨城市工業用水道事業の紹介

### ○事業の主旨

当市は、茨城県最北部に位置し、石炭産業を中核として発展してきた。

その後、昭和46年8月と11月常磐炭鉱の閉山に伴い人口が減少し、過疎指定都市となってしまった。そこで石炭産業に替わるべき産業の振興を企画し、磯原工業団地を地域振興整備公団の手により実施した。

工業団地の企業誘致の中で水資源の確保として、工業用水道事業を産炭地域振興の目的で鉱工業の振興を図るため、昭和42年度から昭和45年度までの3年継続事業で産炭地域小水系用水開発事業費の補助を受けて建設された。

昭和45年度において1日最大配水量25,270m<sup>3</sup>/日の施設が完備され磯原A工業団地へ給水した。

その後、工業都市を促進すべく第二工業団地造成計画（磯原B工業団地）をたて昭和51年造成完了に向け整備を進めた。

また、磯原B工業団地の造成にあたり、現工業用水の需要は、昭和52年度末には不足を生じる見込みなので、昭和49年度から昭和51年度の3年継続事業により実施し、すでに昭和46年度に造成完了した上相田工業団地を含めた工業用水の確保に努め地域の振興に資する目的で実施されたものである。

### ○事業の経緯

第一工業用水道事業は、磯原A工業団地への工業用水供給を目的に昭和42年に着工され、昭和43年に一部給水を開始し、昭和45年に施設が完成した。

その後、工業都市を促進すべく第二工業団地造成に伴い、工業用水の不足が見込まれるため、第二工業用水道事業として昭和49年から昭和51年までの3年継続事業として実施し、昭和52年3月に施設が完成し、磯原B工業団地及び上相田工業団地に供給している。

なお、第一工業用水道は、建設以来40年経過し、施設の老朽化が進んだことにより、平成15年度か

ら20年度までの6年計画で改築事業に取り組んでいる。

### ○ユーザーの概要

（平成20年4月末現在）

#### 第一工業用水道

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
化学	2	16,240
鉄鋼	-	-
薬品	2	5,000
印刷	1	648
鋳物	1	600
樹脂	1	624
その他	2	1,620
合計	9	24,732

#### 第二工業用水道

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
化学	3	4,720
鉄鋼	1	2,120
薬品	-	-
印刷	-	-
鋳物	-	-
樹脂	-	-
その他	1	700
合計	5	7,540

### ○工業用水道施設の概要

第一工業用水道事業及び第二工業用水道事業は、水沼・小山両ダムの放流水を取水源とする花園川と大北川2ヵ所の取水場から表流水を取水し、φ250mm～φ500mmの導水管にて駒木浄水場へ導水している。

場内では、第一工業用水道事業及び第二工業用水道事業それぞれの浄水施設・配水施設が整備され、自然流下により配水管で磯原A工業団地、磯原B工業団地及び上相田工業団地へ給水している。

### ○事業の特徴

水源は、花園川と大北川の二系統化を図っており、事故等の安全性を確保している。

○北茨城市工業用水道給水区域図

